

5 マガン

(カモ目)

兵庫県ランク:C

Anser albifrons

繁殖個体群:無 越冬個体群:C 通過個体群:調

◎天然記念物

環境省ランク:NT(準絶滅危惧)

種の概要

北海道と青森では旅鳥、本州北・中部では冬鳥で、本州西南部、四国、九州でも冬期に稀に記録される。湿原、湖沼、河川、水田、干潟などに生息し、植物の葉や根茎、田の落ちモミなどを採食する。兵庫県では主に9-翌3月に見られる。越冬期は多くの家族群がまとまって大きな群れとなることが知られている。



写真提供:松重和太

国内分布

北海道、南千島、本州、佐渡、舩倉島、隠岐、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、伊豆諸島、硫黄列島、トカラ列島、奄美大島、琉球諸島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、(洲本市)、(伊丹市)、豊岡市、加古川市、赤穂市、(宝塚市)、小野市、加西市、養父市、(加東市)、稲美町、(福崎町)、(香美町)



主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性		
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

BランクからCランクに変更。
かつては小野市男池や伊丹市昆陽池で50-60羽の群れが毎年越冬していたが、1960年代に急減し、その後の記録は極めて少なかった。しかし、最近では個体数は少ないものの、ほぼ毎年、北部の但馬地域の円山川流域を中心に渡来し越冬する個体群が確認されているため、Cランクに変更した。

保護上の留意点

広い採食場所とねぐらの保全が重要。そのために稲刈り後の水田の一部を冬季そのまま残し、ねぐらとなる池や河川には人が入れないように立ち入りを制限することが必要。



写真提供:但馬野鳥の会